

市長が行く

茂原市長 田中豊彦



市長就任にあたって

私は就任した当日、幹部職員の前でのあいさつの中で、「イエスマンはいらない」ということを述べました。その後の記者会見などで、この言葉の真意を尋ねられることがたびたびありましたので、ここであらためて私の気持ちを伝えたいと思います。

「何事も上からの押し付けで処理するのではなく、自分の立場で考え、その物事が市民にとって良いと思うように処理すること。もし間違っていると思ったらたとえ上司であるうが、市長であるうがはっきりとNOと言える勇氣を持つて欲しい。また、自分の意見を言えるような雰囲気を作って行きたいし、若い人の意見もどんどん取り入れたい」これが今の私の考えです。

私はできるだけ多くの人の意見を聞く耳を持ちたいと思っています。茂原市を少しでも良い方向に持っていくために活発な意見交換を望みます。反対意見を言ったからといって逆恨みするような心の狭い人間ではありませんので（念のため）。それから、もちろ

▼市長就任式(5月21日)

ん私利私欲のために動くような人間は必要ありません（これも念のため）。

市長就任から一カ月が過ぎ、あらためて茂原市が置かれている状況の厳しさを感じているところです。このような状況の下で、今私たちに求められていることは、「依存」することではなく、「自立」することだと考えます。あながないこれがない。あれもして欲しいこれもして欲しい。そういつているだけでは何も変わりません。

「ないものねだり」をするのではなく、「あるもの探し」をすることが必要です。限られた予算のなかで何ができるのか、これから市民の皆さんを始め、市職員と一緒に「あるもの探し」を始めていきたいと思っております。

